

ICT超高齢社会構想会議 開催要綱

1 目的

世界に先駆けて超高齢社会を迎えた我が国では、経済活動や社会保障制度、国民生活、地域コミュニティ等の在り方について、従来の政策手法では対応できない課題が発生している。

こうした諸々の課題に対し、距離や時間の制約を超えるICTの積極的な活用により、例えば、高齢者を含むシニア世代の生活の質を高め、その活力を引き出す等、2020年をターゲットとして、超高齢社会に対応するためのICTの在り方について検討を行う。

2 名称

本会議は、「ICT超高齢社会構想会議」と称する。

3 主な検討事項

- (1) 高齢者のICT利活用の現状・ニーズ
- (2) 高齢者向けICTシステム・サービスの動向
- (3) 諸外国の動向
- (4) 超高齢社会におけるICTの在り方、解決すべき課題、具体的な推進・普及方策

4 構成及び運営

- (1) 本会議の構成員は、別紙のとおりとする。
- (2) 座長は、本会議を招集する。
- (3) 座長は、必要があると認めるときは、あらかじめ座長代理を指名することができる。
- (4) 座長代理は、座長を補佐し、座長不在のときは座長に代わって本会議を招集する。
- (5) 座長は、本会議の検討を促進するため、「ワーキンググループ」を開催することができるほか、必要に応じて検討の場を設けることができる。
- (6) その他、本会議の運営に必要な事項は、座長が定めるところによる。

5 開催期間

本会議は、平成24年12月から開催し、半年程度を目途とする。

6 庶務

本会議の庶務は、情報流通行政局情報流通振興課情報流通高度化推進室及び情報通信利用促進課において行う。

ICT超高齢社会構想会議 構成員名簿

(敬称略、座長、座長代理を除き 50 音順)

座長	小宮山 宏	株式会社三菱総合研究所理事長
座長代理	小尾 敏夫	早稲田大学電子政府・自治体研究所所長・教授
	秋山 弘子	東京大学高齢社会総合研究機構執行委員特任教授
	浅川 智恵子	日本アイ・ピー・エム株式会社東京基礎研究所フェロー
	飯泉 嘉門	徳島県知事
	小倉 真治	岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学教授
	金子 郁容	慶應義塾大学政策・メディア研究科教授
	清原 慶子	東京都三鷹市長
	倉持 治夫	日本商工会議所情報化委員長 大阪商工会議所副会頭
	近藤 則子	老テク研究会事務局長
	須藤 修	東京大学大学院情報学環長・学際情報学府長
	関 聡司	新経済連盟事務局長
	徳田 英幸	慶応義塾大学環境情報学部教授
	西村 周三	国立社会保障・人口問題研究所長
	広崎 膨太郎	日本経済団体連合会知的財産委員会企画部会長 日本電気株式会社特別顧問
	武藤 真祐	医療法人社団鉄祐会祐ホームクリニック理事長
	茂木 健一郎	株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所上級研究員

(オブザーバー)

内閣官房	IT担当室
内閣官房	医療イノベーション推進室
内閣府	政策統括官(共生社会政策担当)付高齢社会対策担当
文部科学省	生涯学習政策局社会教育課
厚生労働省	医政局研究開発振興課医療技術情報推進室
経済産業省	商務情報政策局ヘルスケア産業課医療・福祉機器産業室
国土交通省	都市局まちづくり推進課官民連携推進室